

浅水管理を徹底して分けつ促進！ 圃場をこまめに観察してワキ対策は遅れずに！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

5月23日発表の週間天気予報では、5月26、27日は夏日となる見込みです。東北地方の1か月予報（5月25日～6月24日）では、平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並みか多いと見込まれます。

◎管理のポイント

移植後、活着しているにもかかわらず、葉色が淡いまの圃場が見られます。まずは圃場の状況をよく確認し、分けつが進むように管理を徹底してください。

1 活着後は速やかに浅水管理へ移行

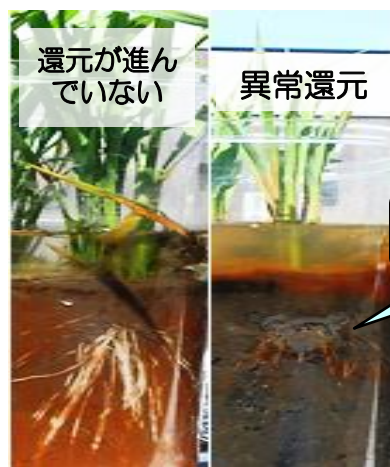
水深が深いままになっていませんか？深水では分けつが抑制されてしまいます。活着後は、水深2～3cmの浅水で管理し、日中止水、夜間かんがいを徹底して分けつを促し、初期茎数を確保しましょう。

2 土壌の異常還元（ワキ）は早めの警戒・対策が必要

すでに土壌の異常還元（ワキ）が発生している圃場が見られます。田んぼに足を踏み入れてガスが発生するか確認しましょう。ガスの発生が多い場合は、田干しや夜間落水を行って、土壌の還元状態を改善し、イネの生育を回復させてください。ワキが発生すると根の生育が阻害され、養分が吸収されにくくなるため、葉色が淡くなり、分けつの発生が抑制されます。



ワキが発生した圃場に
足を踏み入れた時の様子



異常還元による根の伸長抑制
(R2年ポット栽培、移植20日後)

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

春季農作業事故防止運動強化期間(4/1～6/10)